

『枕草子』〜清少納言の「あるある言いたい」でいっぱい?〜

◎「春はあけぼの」の書き出しで有名な『枕草子』。花鳥風月を愛でる風流な文章だが、実は現代にも通じる「あるある〜」がいっぱい！面白いので、ぜひ読んで興味をもってほしい。

※一部抜粋、省略したものです。

☆憎たぐいもの

- ・急用があるときによってきて、長々と話す人。目上の人だとあしらえないから、超迷惑だわ。
- ・すすりの中に髪の毛が入っちゃってるのに気付かず、墨をすっちゃったとき。小石が入って、変な音を立てちゃうのも嫌だわ。
- ・大したやつでもないくせに、満面の笑みで自慢しちゃってるやつ。
- ・眠くて眠くて横になったのに、耳もこで「ぶ〜ん」と鳴く蚊。
- ・話の途中なのに、「あ、知ってる知ってる〜〇〇だね〜」と話を遮って〜んやつ。
- ・開けた扉を閉めない人。

☆胸がやわらかい

- ・赤ちゃんが遊んでいるのを見たとき。
- ・デートの約束をして、相手を待ってるやつ。
- ・お化粧をして、いい匂いをさせたちゃんとお高い服を着たとき。
- ☆なまけがちになるもの
- ・又切まで余裕のある準備。

☆昔を恋しく怀ける

- ・小さい頃夢中になって遊んだお人形。
- ・挟んでいるのを忘れていた、お気に入りのしおり。
- ・暇な日に見つけた、好きだった人からの手紙。

☆うれしさ

- ・身分の高い人と大勢一緒のいるときに、その人が目を合わせて話かけてくれたとき。
- ・遠方で見舞いも行けずに心配していたら、良くなったと聞いたとき。
- ・自分のよんだ歌が評判になって、だれかが書き留めていると聞いたとき。
- ・いつも偉そうにしている人を、ぎゃふんといわせたとき。それが男だと、もっと嬉しいの。

☆鳥は

- ・鳥は、外国のものだけど、オウムが好き。この鳥、人の言葉をマネするらしいの。
- ・ヤマドリは、寂しがり屋だから、鏡を見せれば安心するらしいの。幼くて可愛いわね。
- ・ツルは、とても大きな見た目。でも、鳴き声が天まで届くらしいからすごい。
- ・ホトトギスはもちろん最高。花に隠れて、声だけ聞かせるって、気が利いてるわね。

いろんな「あるある〜」がありましたね。でもこれらは、清少納言の目で見えたもの。今度は、**みんなだからこそ見える世界を、自分の言葉で書き表してみよう。**